令和５年度 明治大学戦没学徒忠霊殿慰霊祭のご報告

７月 10 日、新潟縣護國神社において令和５年 明治大学戦没学徒忠霊殿慰霊祭を執り行いました。今年はご来賓として下記の皆様のご臨席を賜りました。

学校法人明治大学	理事長	柳谷　　孝　様
明治大学校友会	会長	北野　　大　様
学校法人明治大学	経営企画担当常勤理事	大原　幸男　様
明治大学校友会	筆頭副会長	德丸平太郎　様
学校法人明治大学	顧問	長吉　　泉　様
学校法人明治大学	校友連携事務長	竹内　　亮　様
学校法人明治大学	経営学部事務長	幕内　達二　様
新潟縣神社護國神社	宮司	齋藤　伸雄　様
明治大学新潟県父母会会長		宮崎　邦夫　様
明治大学新潟県父母会副会長		伊藤　正紀　様

慰霊祭では祝詞に続き、戦没学徒 324 柱の御霊に対し、謹んで明治大学校歌を三番まで奉納しました。指揮は今年も応援団 OB 真柄雄一氏（平３法）が務め、「フレ フレ 明治」のエールが高らかに境内に響き渡りました。その後、参列者全員による玉串拝礼と続き、最後に柳谷理事長よりご挨拶を賜りました。「令和の時代でも繰り返される争いの中にも、明治大学は戦争の悲惨な現実を決して風化させず、人類の平和に貢献する大学として発展していく」との誓いの言葉が捧げられました。

会場を移して行われた直会では、髙橋淑浩・新潟県支部長（昭 49 商）の開会挨拶に続き、明治大学校友会・北野会長、新潟縣護國神社・齋藤宮司、学校法人明治大学・長吉顧問（長吉顧問は元理事長。当日福岡より駆けつけてくださいました）よりご挨拶をいただきました。北野会長は「教員として学生たちに戦争だけは絶対にしてはいけないと言い続けてきた。校友会は明治大学がある限りこの慰霊祭を存続させなければいけない」と述べられました。明治大学校友会・德丸副会長による献杯のご発声でしばし歓談。締めに当たり、神林裕・新潟地域支部長（昭 50 政経）から学校法人明治大学へ、学校法人明治大学・大原常勤理事から校友会新潟県支部へ、万歳三唱によるエール交換が行われました。最後に、大竹雅春・長岡地域支部長（昭 60 商）より参列者の「明治愛」をたたえる言葉が送られ閉会となりました。

【後記】

２回目の参列となった今年は、祝詞がしっかり耳に入ってきた。2019 年の大河ドラマ「いだてん」の出陣学徒壮行会の画が頭に浮かんだ。土砂降りの明治神宮外苑競技場。スタンドから家族・恋人・恩師が、無念と悲しみと怒りを込めて、行進する彼らに万歳を送った。あの中に、祈りむなしく戦地に散った、324 人の先輩達がいたのだと思うと胸が詰まった . . .

英霊となった先輩たちが目の前にいるのだと、玉串を捧げながら実感しました。日ごろ戦争のことなど考えない現代において、毎年７月 10 日、この慰霊祭では英霊を想い、大学は近況を報告するとともに不戦の誓いを新たにし、校友会は後輩たちの元気な様子を披露します。その場所が新潟であることに不思議な縁を感じます。新潟県支部の一員として、大学、校友会とともにこの「祭り」に携わる名誉と使命を思った慰霊祭でした。（杉本記）